

萌黄 (もえぎ) 通信

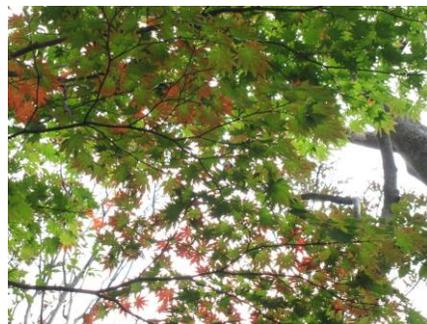


みなさんお元気ですか？ 10月に入ってめっきり涼しくなってきました。台風が立て続けに接近しましたが、皆様のところはお変わりないでしょうか？

山梨は山間部を通る道が多く、大雨の度に必ずどこかで土砂崩れが起き、片側通行になるので不自由しています。また現場にも影響が出てくるので、台風が接近すると、現場の調整をぎりぎりまでしないといけないので、天気予報から目が離せない状態です。何とか予定を大幅にずらさないで今月を乗り切りたい堀内貢次です。

『小さい秋探し』

先日、富士五湖の精進湖周辺の山を散策してきました。紅葉を期待しながら歩きましたが、まだ色づきはほとんどなくて、たった1400mあまりの頂上辺りでようやく紅



葉の兆しを見つけました。精進湖周辺の紅葉は10月の後半が見ごろになるようです。

「大谷石の変色」

今月の石材メンテナンスは、ある個人邸で、大谷石をボンド貼りしたのですが、1か月くらい経ったらボンドを塗った所以外が茶色く変色してしまった現場からです。

恐らく、ボンドの成分が石目の中にまで入り込んでいるので、他の部分よりも空気や湿気に触れにくかったために茶色の変色が少なかったのかもしれませんが。

大谷石は、よく外構の塀などに使われることが多く、弊社のある山梨でもよく見かけますし、今回のような茶色い変色のシミ抜き等は経験済みなので、同じような工法で何とか取れました。

大谷石を採掘する宇都宮では、色相の変化は天然石の風合いとして楽しんでくださいと言っているくらいです。

今回の施工は、サビ？ カビ？ シミ？等の観点から、洗剤を2種類選び、サビ抜き剤塗布→すすぎ洗浄→シミ抜き剤塗布→すすぎ洗浄の工程を繰り返しました。

一次目のサビ抜き剤でかなりの茶色は抜けてきますが、大谷石特有の綺麗な薄緑色を再現するには、シミ抜き剤をゆっくりと反応させていくのがコツになります。



1. 大谷石に出た茶シミ



2. サビ抜き剤塗布



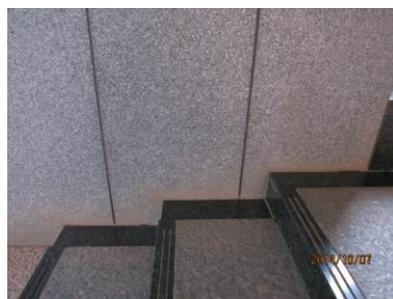
3. 下部分のみ完了



4. 全体完了。大谷石と分かりますね

御影壁石のモップ拭き跡

エントランスなどの日常清掃では、モップを使用することが多いので、どうしても写真のようなモップ跡がだんだんと出来てしまいます。経年の蓄積したモップ跡では、酸性の洗剤を使用しないと取れない場合が多いですね。



(編集後記) 最近、ネット情報からマタタビの実を1日、6粒食べています。滋養強壮や持病の高血圧の抑制に効果があるとか？ しばらく試して様子見です。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp